

かとう市議会だよりの表紙と裏表紙に「兵庫県立社高等学校と加東市とのつながり」というテーマで議会広報委員会の取材を受けた内容が掲載されました。体育科ではゴルフ実習のことやコロナや天候不順で3年間できていないのですが、水泳教室での小高連携の話を高見君が説明。生活科学科からは角田さんと井上さんが取材を受け、地方創生の取組についてもち麦を使った商品開発による広報とツアー企画による加東市の良い所紹介および交通安全啓発のためのマスコットづくりやこども園等での食育劇やおもちゃ作り、小学校での食育、地産地消の商品企画など多くの関わりについて説明したようです。また、生徒会からは宮崎生徒会長が、昨年度のモザイクアートの作成について説明。社高校の加東市との関わりの多くを生徒たちが自分たちの経験からの



自分たちの言葉で紹介してくれました。

また、JAみのり発行の「MINORI」11月号には生活科学科3年の片岡さん、谷輪さんが考案した「レンコンのはさみ焼」と「サツマイモのクッキーシュー」のレシピが掲載。「今月のピックアップ」でレンコンの食材紹介がありましたが、食物繊維やビタミンCが多く含まれ、美肌効果もあるとのこと。カボチャをレンコンではさむなど、栄養満点のレシピを紹介されています。春菊のマリネやツナと里芋とコーンのサラダも添える写真が掲載されており、彩も鮮やかでおいしそうです。一度お試しあれ。



11月1日からはオープンスクールが始まりました。PTAの担当の方に受付を手伝っていただいています。1年生の保護者が多いのですが、兵庫教育大学附属中学校の先生方や教育研修所の指導主事の方々も来られます。タブレットを使用したり、生徒同士が意見を出し合ったりする授業などを見ていただき、先生方も緊張しながら授業を進めていました。5日までの日程で日々20人から30人の方々に見ていただくことになっています。どうぞよろしくお願いいたします。



11月に入りよいよ2021年もあと2か月となりました。今年は東京オリンピック、パラリンピックが無観客で開催されるある意味歴史に残る大会があっただけでなく、新型コロナで随分と行事の変更を余儀なくされ、学校の方もその都度の対応に追われた10か月でした。まだまだ先が見通せない中、制限の解除とともに日常が少しずつ戻ってきて、感染がどうなるのか、インフルエンザとの関わりはどうか等まだまだ気を許せない状況です。それでも、生徒と話をしていると学校生活は楽しくやっているようで、少し救われるところがあるのですが……。3年生は今後大学の推薦入試が始まり、1年生は進路選択を決める時期となります。今までかなりの制限がかかる中での生活でしたが、少し緩んだ生活を楽しみつつも感染防止対策をしっかりと、この期間が長く続き、日常を取り戻せるようにしていきたいものです。しっかりとした意識を持って行動しましょう。

そして、今週末には、ソフトテニス部男子団体、ソフトボール部、バドミントン部男女団体の県新人大会が開催されます。またバレーボール部男女は春高バレー県予選が行われ、3年生最後の試合となります。ソフトテニス部男子は先週県新人大会個人戦に出場。敗戦となりましたが、団体戦で強豪校に挑戦します。翌週には柔道部の県新人とバドミントン部男女の個人近畿大会があり、大会が続いていきます。文化部の方も兵庫県高等学校総合文化祭が始まり、本校は、6日文芸部(会場 KIITO)、11日から14日美術部(県立美術館)、12日から14日書道部・写真部(原田の森ギャラリー)、14日吹奏楽部(明石市民会館)、23日放送部(三木市文化会館)と多くの部が参加します。展示の方は鑑賞はできますが、演奏や発表の方は無観客となっています。運動部の方も無観客となっているところもあり、生徒たちの頑張りすべてを見ることはできませんが、できる限りお伝えできるようにしていきたいと思っております。早い段階で保護者の皆様とすべての活動を共有できる日を信じ、今できる感染防止対策を継続し、体調管理に努めていきたいと思います。よろしくお願いいたします。